

全教科についての指導方法の課題分析と具体的な授業改善策

教科名	音 楽
-----	-----

	指導方法の課題分析 (学習における児童の実態等)	具体的な授業改善策	補充的・発展的な 学習指導計画
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を体で感じ取りながらリズムに乗って楽しく歌っている。</li> <li>・身体表現やリズム遊び、簡単な打楽器の演奏など意欲的におこなっている。</li> <li>・鍵盤ハーモニカの学習ではタンギングがまだ身につけていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽に集中して耳を傾けられるような仕掛けや投げかけを工夫する。</li> <li>・身近な楽器にふれる機会を多く設け、拍やフレーズを感じながら演奏できるようにする。</li> <li>・鍵盤ハーモニカの学習では基本的な奏法を個別指導で身につけさせ、楽しみながら学習できるように工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の要素を体で感じ取って習得するようにする。</li> <li>・いろいろな楽曲にふれさせ、身体表現をしたり絵などで表したりすることにより、豊かに音を感じとれるように工夫する。</li> </ul>
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・のびのびと音楽活動に取り組んでいる。グループによる表現活動も友達同志関わり合いながら意欲的に取り組める。</li> <li>・鍵盤ハーモニカでは技能の差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いの歌声や演奏を聞き合い個々のよさに気付かせる。</li> <li>・教材を工夫し、鍵盤ハーモニカの段階的指導得を計画的に行う。</li> <li>・グループ学習で楽しみながら、技術の向上を図る。</li> <li>・様々なリズムや、リズム楽器を経験させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・録音された自分たちの歌や演奏を聴き合い、話し合いの中でより良い演奏ができるようにする。</li> <li>・日常的に発表する場面を設ける。</li> <li>・リズム感を養う教材を用意する。</li> </ul>
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱に対しては声の出し方を意識しながら声を響かせるようになってきている。</li> <li>・リコーダーの学習については技術に個人差があるが意欲的に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなの手本となる表現をしている児童からお互い学びあえるように学習活動を工夫する。</li> <li>・リコーダーの学習に遅れがみえる児童は個別に対応する。聞き合い・教え合いの活動を多く取り入れ、技術面の全体的な向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・録音された自分たちの歌や演奏を聴き合い、話し合いの中でより良い演奏ができるようにする。</li> </ul>
第4学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽活動全般に興味、関心が高いが、集中力の持続が難しい児童が多い。</li> <li>・技能面で個人差はあるが、課題に対して意欲的に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カード・評価カードを工夫し、上達していることを児童自身に実感させることで自信を持たせる。</li> <li>・短い楽曲での読譜を数多く経験させ読譜力の向上を図る。</li> <li>・鑑賞と表現活動の一体化を図ることで、音を感受したり創って表現したりできる能力を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・録音された自分たちの歌や演奏を聴き合い、話し合いの中でより良い演奏ができるようにする。</li> <li>・意欲を喚起するため、スモールステップで学習が進められる教材を用意する。</li> </ul>

<p>第5学年</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音の重なり、響き合いを意識して聴いたり、演奏したりしつつある。</li> <li>・音楽への興味関心は高いが、人前で表現することに消極的な面が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カードや評価カードの活用により個人の努力や工夫を見取り、適切に評価し、きめ細やかな助言をすることで意欲を高める個別指導をおこなう。</li> <li>・スモールステップで学習を進め、できた喜びや達成感を味わわせながら、自己表現に自信をもたせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力して音楽を創り上げる態度を育てる。</li> <li>・個の習熟度にあわせてスモールステップで向上できるように、難易度の違う課題を用意する。</li> </ul>
<p>第6学年</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音の重なり、響き合いを感じようとしている。</li> <li>・自主的な練習を進んで行い意欲的に課題解決に取り組む。</li> <li>・友達の表現の良さに気づかせることが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別指導と同時に、アンサンブルの機会を増やし、互いの演奏に関心を持たせる。</li> <li>・学習カードや評価カードの活用により個人の努力や工夫を見取り、適切に評価し、きめ細やかな助言をすることで意欲を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力して音楽を創り上げる態度を育てる。</li> <li>・より高い水準の達成感を持たせるために、難易度の違う楽譜を何種類か用意する。</li> </ul>